

日米投信週次概況(2023年5月31日週)

# 日本でインド株ファンドに純流入が加速、 米国でテクノロジー株ファンドに過去最大の純流入!!

三菱UFJ国際投信株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp) 窪田真美 (mami1-kubota@am.mufg.jp)

- 日本はインド株の純流入加速！ 直近4週計で1位!! 日経225型は流出が若干鈍化.....p.1
- 米国ではテクノロジー株が過去最大の純流入！ 日本株の純流入も継続.....p.3

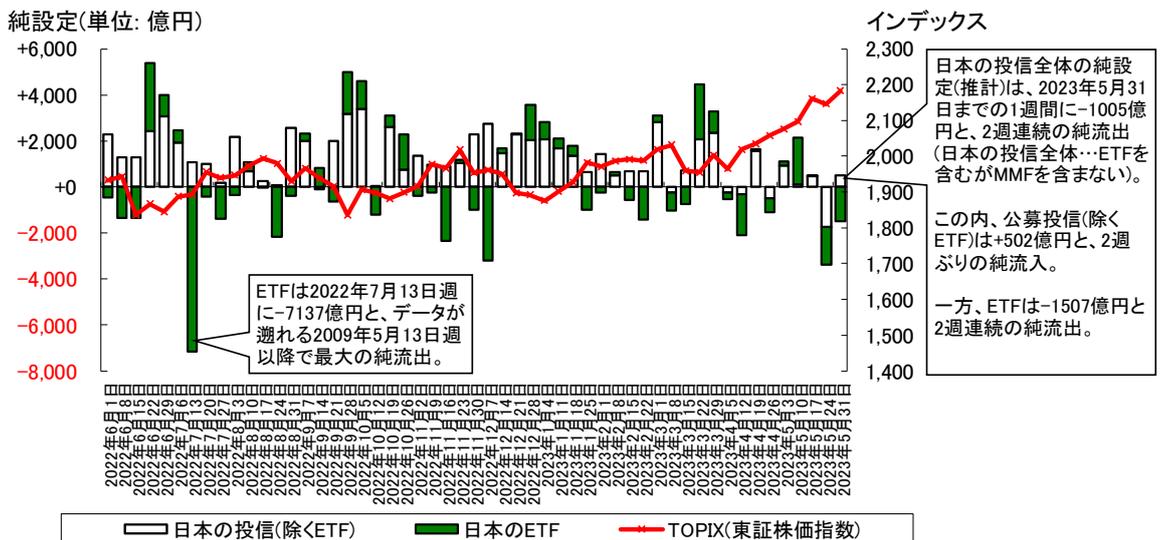
## ●日本はインド株の純流入加速！ 直近4週計で1位!! 日経225型は流出が若干鈍化

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2023年5月31日までの1週間に-1005億円と、2週連続の純流出(日本の投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~イボットソン調べ)。この内、**公募投信(除くETF)は+502億円と、2週ぶりの純流入**(前週5月24日週/-1734億円は2020年11月18日週/-2545億円以来2年半ぶりの大きな純流出)。一方、ETFは-1507億円と前週(-3367億円)から鈍化も2週連続の純流出となった(前週5月24日週/-3367億円は、昨年2022年7月13日週/-6050億円以来10カ月ぶりの大きな純流出)。



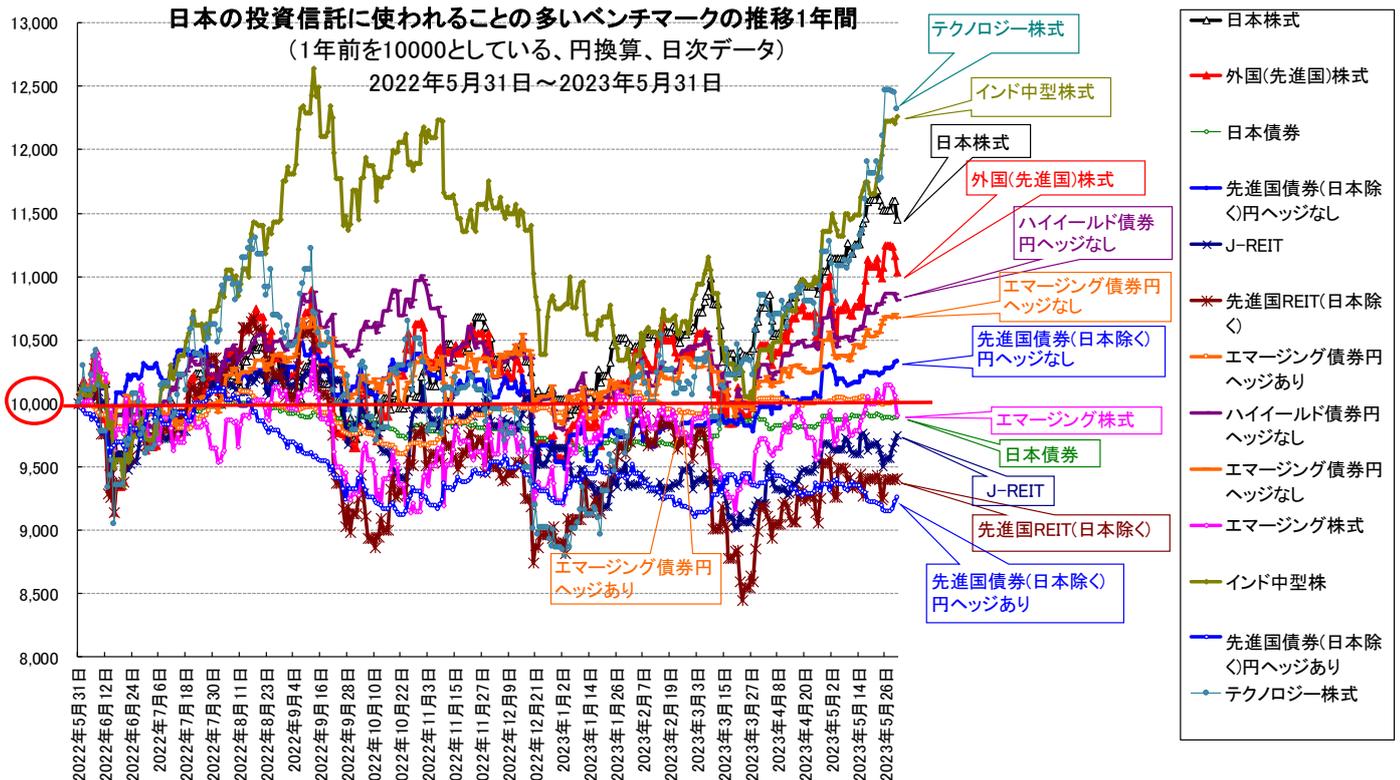
日本の投信全体の純設定とインデックスの推移  
(2022年6月1日 ~ 2023年5月31日、週次データ)

\*日本の投信(含むETF)・・・モーニングスターの「Japan Open-end (domiciled)」「Exchange Traded Fund (Japan domiciled)」  
インデックス・・・TOPIX(東証株価指数)



(出所: ブルームバーグ及びイボットソンより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

最新2023年5月31日週の公募投信(除くETF)純設定額を分類別に見る。 **純流入1~3位はグローバル株-日本を除く、インド株、日本中小型バリュー株。** このうちインド株は4週合計で1位、日本中小型バリュー株は同3位で、ともに純流入加速傾向。日本の投資信託に使われることの多いベンチマークで、インド(中型)株式は、日本株式を上回る好パフォーマンスだ(推移1年間)。



(出所: ブルームバーグより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成) \*ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

一方、純流出1~3位は北米株、その他グローバル株、グローバル株-円ヘッジ。ただ、いずれも純流出額は前週から減少。日経平均株価は33年ぶりの高値更新で、利食いの解約が膨らみ、前週にかけて日経225連動型ファンドの純流出が急加速していたが、その純流出も最新週は若干鈍化している(下記テーブルでは日本株大型ブレンドに含む)。

● 日本の投信の分類別週間純純出入(純流入の大きい順) 2023-05-31現在  
\*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJ国際投信商品マーケティング企画部)
1	World ex-Japan Equity	+19,054	+7,562	+38,578	7,007,257	グローバル株-日本を除く
2	India Equity	+14,368	+10,577	+39,232	1,113,321	インド株
3	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	+9,213	+7,979	+26,602	703,944	日本中小型バリュー株
4	Moderately Conservative Allocation	+7,451	-2,578	+3,103	2,253,468	モデレート・コンサバティブ・アセットアロケーション
5	Japan Bond Long/Intermediate	+7,024	-1,199	+597	3,423,302	日本中長期債
6	Moderately Aggressive Allocation	+6,378	-262	+12,969	2,763,420	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
7	World High Yield Bond US	+4,202	+3,916	+14,757	1,053,161	米国ハイイールド債
8	Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	+3,993	-551	+3,145	542,726	日本中小型ブレンド株
9	Moderate Allocation	+3,772	-2,878	+1,739	2,941,601	モデレート・アセットアロケーション
10	Conservative Allocation	+3,441	-1,620	-1,959	2,153,502	コンサバティブ・アセットアロケーション
84	Japan Large-Cap Growth Equity	-1,665	-9,772	-17,393	1,166,445	日本株大型グロス
85	Japan Large-Cap Blend Equity	-2,209	-81,924	-103,154	6,817,224	日本株大型ブレンド
86	Risk Control Allocation	-2,302	-4,382	-11,130	1,451,733	リスク・コントロール・アセットアロケーション
87	Japan Specialty Equity	-2,818	-5,077	+23,999	473,004	日本専門株
88	World ex-Japan Bond	-2,913	+4,920	-618	2,433,130	グローバル債-日本を除く
89	Japan Cash Balanced Equity	-4,236	-7,114	-12,350	782,040	日本株キャッシュバランス
90	World Equity - JPY Hedged	-5,259	-6,822	-20,792	1,526,539	グローバル株-円ヘッジ
91	World Equity	-5,664	-15,896	-2,552	17,012,821	グローバル株
92	World Other Equity	-5,880	-7,788	-18,775	937,823	その他グローバル株
93	North America Equity	-6,065	-38,008	-4,898	11,080,317	北米株
全93分類の合計		+50,265	-173,383	-64,636	93,278,570	
指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)			
TOPIX (東証株価指数)	-0.95	+0.88	+2.72			
S&P500	+1.61	-1.01	+2.37			
MSCI ワールド	+0.47	-1.07	+0.47			

(出所: ブルームバーグ、イボットソンより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)。

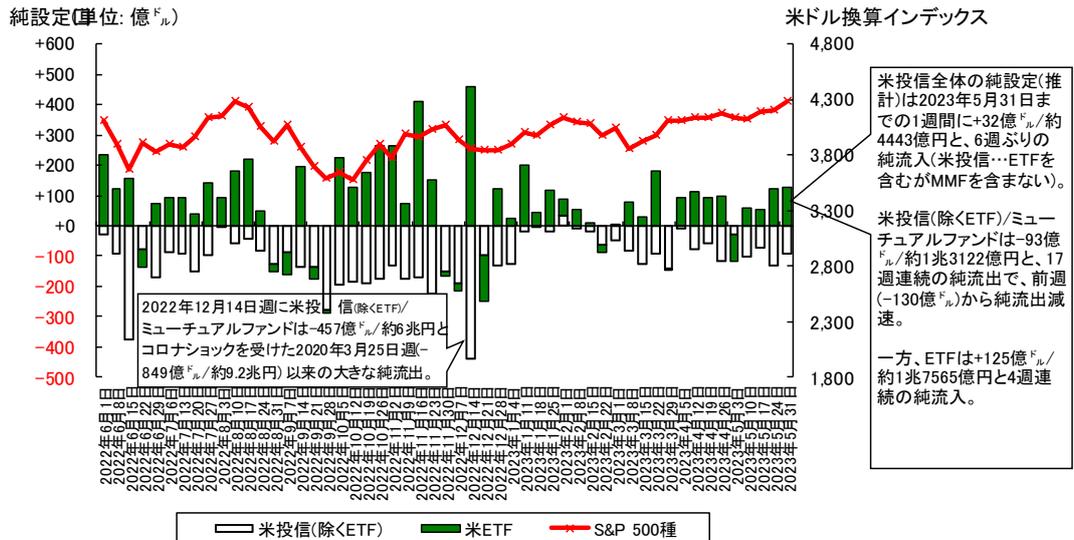
## ●米国ではテクノロジー株が過去最大の純流入！日本株の純流入も継続

米投信全体の純設定(推計)は2023年5月31日までの1週間に+32億<sup>ドル</sup>/約4443億円と、6週ぶりの純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～イボットソン調べ)。この内、**米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-93億<sup>ドル</sup>/約1兆3122億円と、17週連続の純流出で、前週(-130億<sup>ドル</sup>)から純流出減速。**一方、ETFは+125億<sup>ドル</sup>/約1兆7565億円と4週連続の純流入となった。



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移  
(2022年6月1日～2023年5月31日、週次データ)

\*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)… モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。  
米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: ブルームバーグ及びイボットソンより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

\*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2023年5月31日週の投信全体純設定額を分類別に見る。**米国株が-2億<sup>ドル</sup>と、5週連続の純流出も減速傾向。**外国株は+2億<sup>ドル</sup>と4週連続の純流入、コモディティは-2億<sup>ドル</sup>と2週ぶり純流出。一方、**債券は-18億<sup>ドル</sup>と9週ぶりの純流出。**非伝統的株式は+6億<sup>ドル</sup>と長期連続の純流入。

より投資対象を細かく見る。米投信(含むETF、除くMMF)の分類別純設定額は下記の通り。**純流入1～3位は米国テクノロジー株、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米國中長期コア債。**



米投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順)

2023-05-31現在

**\*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

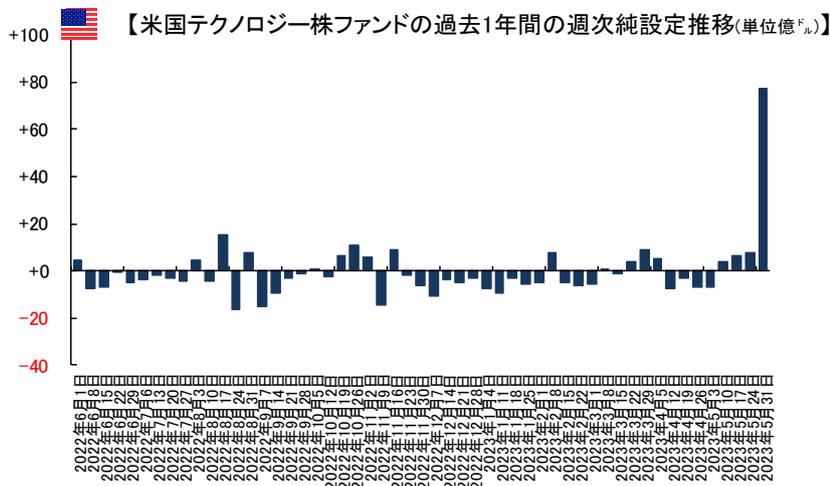
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJ国際投信商品マーケティング企画部)
1	Technology	+7,747	+752	+9,521	242,836	米国テクノロジー株
2	Large Blend	+3,807	+2,872	+12,033	3,060,740	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
3	Intermediate Core Bond	+1,339	+1,893	+6,564	565,522	米国中長期コア債
4	Long Government	+975	+2,147	+5,490	97,663	米国長期国債(6年超)
5	Intermediate Core-Plus Bond	+955	+1,338	+4,288	531,715	米国中長期コアプラス債
6	Foreign Large Growth	+768	+34	+895	350,037	外国株大型グロース株
7	Derivative Income	+680	+321	+2,152	56,885	デリバティブ・インカム
8	Japan Stock	+498	+561	+1,373	24,002	日本株
9	Muni National Interm	+445	-43	+560	215,568	米国全米地方債
10	Intermediate Government	+318	+511	+2,524	171,669	米国中長期国債(4-6年)
112	Mid-Cap Value	-539	-831	-1,858	232,457	米国中型バリュー株
113	Trading--Leveraged Equity	-567	-729	-1,621	55,501	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
114	Consumer Defensive	-588	+98	-303	32,366	ディフェンシブ消費財株
115	Bank Loan	-628	-733	-3,298	58,292	米国バンクローン
116	Diversified Emerging Mkts	-775	-537	-1,457	491,106	グローバル・エマージング株
117	Short-Term Bond	-809	-135	-2,741	352,083	米国短期債
118	Small Blend	-918	+1,531	-1,656	341,027	米国小型ブレンド株
119	Large Value	-1,124	-5,515	-11,016	1,196,277	米国大型バリュー株
120	High Yield Bond	-1,427	+1,308	-2,824	230,859	米国ハイイールド債
121	Ultrashort Bond	-1,453	-767	-3,479	275,488	米国超短期債
	全121分類の合計	+3,273	-680	-4,139	16,063,443	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	-0.95	+0.88	+2.72		
	S&P500	+1.61	-1.01	+2.37		
	MSCI ワールド	+0.47	-1.07	+0.47		

(出所: ブルームバーグ、イボットソンより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

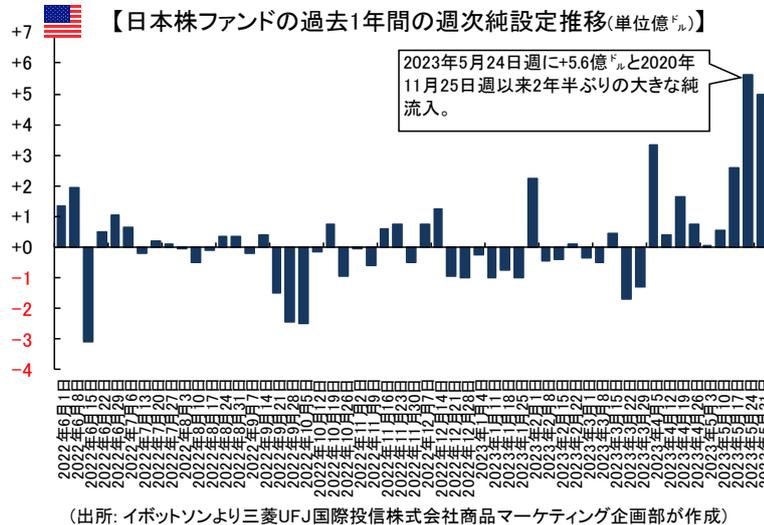
**1位の米国テクノロジー株は4週連続の純流入となり、+77億ドル/約1.1兆円と週次データが統計で遡れる2009年6月以来で最大の純流入だった。米国テクノロジー株については、「EPFRのデータによると、ハイテク株ファンドには5月31日までの1週間に過去最高の85億ドル(約1兆1800億円)が流入した。ハートネット氏はレポートで、『独占的なハイテク企業』が価格決定力により中小企業を圧迫する形で勝ち組となっていると指摘。テクノロジー株中心のナスダック100指数が小型株の指標ラッセル2000との比較で最高水準となっていると説明した。」**という(2023年6月2日付

ブルームバーグ「AIFベビーバブル」、ハイテク株ファンドへ資金流入促すー過去最高」~ <https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2023-06-02/RVM9NADWX2PS01>



(出所: イボットソンより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

日本の投資信託に使われることの多いベンチマークで、テクノロジー株式は、インド(中型)株式や、日本株式を上回るパフォーマンスとなっている(推移1年間~2頁グラフ参照)。なお、米投信の日本株式は9週連続の純流入となり、+5億ドル/約700億円と週次ベースでは2020年11月25日週以来の大きな純流入となった前週に次ぐ今年2023年で2番目に大きな純流入だった(全121分類中8位)。



以 上

三菱UFJ国際投信【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「各年… <https://www.am.mufg.jp/market/report/investigate.html>、  
<https://www.am.mufg.jp/smp/market/report/investigate.html>」。

三菱UFJ国際投信株式会社 商品マーケティング企画部 企画グループ

松尾 健治( [kenji-matsuo@am.mufg.jp](mailto:kenji-matsuo@am.mufg.jp) )、

窪田 真美( [mami1-kubota@am.mufg.jp](mailto:mami1-kubota@am.mufg.jp) )。

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、内外の資産運用に関連する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。

### 本資料中で使用している指数について

- TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
- MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会